

## いのちと森を守る活動

自主財源事業・フリークリニック・鍼灸研修  
-PIHS ナブサさんの報告から-

今年度私たちは、モロの村において以下2件の事業を実施して、パートナー団体 PIHS から随時報告を受けています。

- ① 今井記念海外協力基金助成「保健ボランティアの能力向上及び医療保健加入推進事業」
- ② WE21 ジャパンみどり支援「モロの村の健康推進・自主財源事業と青少年の健全育成」を実施中です。

- \*4/11 昨年のスタッフ・ミシャルは国立MSUに復学するので、助産師資格のあるノーマがスタッフに加わる。
- \*5/5 割礼、子宮ガン検診、血液検査を含む5地区での巡回診療が今日で終了。奨学生の夏休み公演(貧しいモロの健康問題や人権に関する演劇。指導はハッサン)には住民100人が集まった。
- \*5/19 昨日はティナガカンでヘルス組合の感謝の集いがあり、バランガイキャプテンも参加。成果を上げているヤシ屋根材事業について意見交換した。今日から10日間キダパワンのTCM(漢方薬)研修に参加。ファティマの研修所建設はダルリナが監督。
- \*6/22 バリンバン町で医療保険加入を指導。ノーマも医療保険局や市役所とコンタクトをとっている。これからツヤンのミーティングに出てから、ティナガカンに行ってヤシ屋根材事業の報告を受ける予定。
- \*6/30 バニグ編製品で収入向上を図るツヤンのグループMulanが町主催のフェアトレード展示会に招かれた。女性たちの取り組みを応援したい。
- \*7/5 バロンギスの自主財源事業は耕運機貸出先も増えて順調。新規にカートを買う件は、村に争い事が起きたので様子を見ている。カルンパンのロテにあるクリニックは助産所/家族計画センターとして改修が終わり、この30日に開業する。担当は助産師ノーマ。



保健ボランティアの鍼灸技術研修(講師:ナブサさん。松尾基金で建設したファティマの研修所で。敷地内では薬草を栽培) 6/4 山崎訪問時撮影

— ジョジョのクリニック報告 3-6月分 —  
(医療支援47名の会費が充当されています)

- \*支援患者延数:69名 <主な疾患>風邪・インフルエンザ25名、水痘4名、百日咳1名他  
<年齢層> 5歳以下13名、60歳以上3名。
- \*入院:3/18-21 ヘンリー(教師)コレステロール値上昇・意識障害 5/9-6/7 エドナ(ハイスクール休学中)躁鬱病でダバオ精神病院入院。
- \*巡回診療:3/12 ケブリン地区(一般診療115名・歯科24名)4/18 バティティック地区(歯科のみ51名)6/11 バサグ地区(歯科のみ53名)
- \*その他:5/10 マルンゴン町社会福祉事務所でエドナの経費支援手続きをする。5/17 スマイル財団にオベデンチオ(7歳)の口蓋裂手術日程確認
- \*グリーンカード料徴収:計2,740ペソ。

完成したラムブソンのラムポンプ方式水道の管理者



水流不足でポンプ音が止まったら、指さしている部分を手動で押す必要がある。



丸二日パイプを流れる水量が低下すると、ポンプ機能が停止するため、保守点検は不可欠。村の管理者ホセ(右・元奨学生)とエスナニ(建設したバサリ財団の技術者)

アグロフォレストリー現況 (PFP 報告より)

<スララ町タラヒク村2地区のゴムノキ育成>

ゴムノキ農園の境界や急傾斜地でのマホガニーなどの在来種植栽も一部で完了、ゴムノキ苗木は1mを越す等、順調に進捗している。8月末の事業終了後、自主的に管理できるように住民組合も5月に結成された。また研修には受益者以外も参加し関心の高さがうかがえた。(緑の募金公募事業)

<ダグマ山系森林再生事業・3年継続事業>

道路状況が悪く、マキララ町種苗店からのパラゴムノキ苗木購入・輸送が遅れたが、今は近くのマシアグ村苗床に届いて、住民が手入れをしている。まもなく馬か水牛で、ラワン及びバガカイ村植栽地に運ぶ予定。苗木移植、手入れ技術研修も8月第1週に予定している。(三井物産環境基金助成)